

SEMINAR HOUSE NEWS

セミナーハウス・ニュース

No.181
2011年11月発行

公益財団法人 大学セミナーハウス 〒192-0372 東京都八王子市下柚木1987-1 TEL.042-676-8511 FAX.042-676-1220

<http://www.seminarhouse.or.jp>



巻頭言

孔子学院事業に思う

大学セミナーハウス 理事
光田 明正

2004年に中国政府は全世界に向かって「孔子学院」の設立を呼びかけた。中国語・中国文明の普及を目的とする。現在、96ヶ国・地域において、孔子学院320余校と孔子課堂360余校が活発に活動している。グローバル化時代に対する漢文明の対応である。

日本では、グローバル化時代に対応するためといい、小学校から英語教育を始めるようになった。東京大学は秋学期入学に切り替えた。テレビなどの東大の説明をみると、海外では秋学期入学であるからということである。「海外では」というのが、重要な理由だとすれば、その発想は中国の孔子学院設立の発想とは相当に異なる。孔子学院事業着想の基本は、欧米文明だけが世界文明ではないことを世界中の人々に認識してもらおうということにある。世界中に英語のみを学ぶのではなく漢語をも学んでほしいと他の国々民族に語りかける。文明は多元的であり、儒教文明の存在を再認識してはどうかと問いかける。欧米文明を否定はしないが、漢文明も健在だという呼びかけである。孔子学院の憲章には、文明の多元性を認めその調和を図ることの重要性が書き込まれている。一つの挑戦である。

明治維新の「文明開化」、敗戦後の被占領を経て、現在の日本では経済発展を追求し、科学技術を重んじ、いわゆる「民主主義」が正義であるとする唯一の世界文明あるいは「国際社会」があると考えている人が大多数である。そうして日本はその「国際社会」の外にあり、そこに入り込まなくてはならないという焦燥感を持つ。

儒の世界とヨーロッパ文明世界との違いは大きい。一例を挙げよう。現在の日本では社会正義の名の下に内部告発をよしとする。論語にある話である。ある王が孔子に自分の国では、親が羊を盗んだと子が正直に届け出てくる、正義が行われていると自慢したのに対し、孔子は「親は子のために隠し、子は親のために隠

すのが人情ではないか」と述べる。孔子は内部告発は人情に反すると述べているのである。また中国では、共産党の指導を高らかに謳っている。儒の賢人政治の思想である。人権についても、中国には中国なりの考え方がありと明言する。どちらがよいかは別にして、ヨーロッパ文明が唯一の価値基準ではないという発想が隣の大陸に厳然としてあるということは認識すべきであろう。

桜の花の満開の時季、澆刺と新入生が希望を抱いて校門をくぐるのを見るのは楽しい。日本も発想を換え、欧米に合わせるのみを進歩とするのではなく、たまには日本と同じような気候の国々に対し、4月入学も悪くはないと提案してみるのはいかがでしょうか。

最近、わが国では伝統的徳徳の敗退にはじまり色々な社会的矛盾がみられる。維新以降の必死のヨーロッパ文明追究の帰着と見ることも出来る。色々な事故が生ずるのも、ヨーロッパ文明の科学技術の表層的追求の結果ではないか。明治維新と敗戦と日本は二つの大きな曲がり角を歩んできた。今一度踏みとどまって、日本の独自性、伝統、国語などに思いを馳せ、ヨーロッパ文明との関係を今一度洗い直してみることも必要ではないか。中国主唱の孔子学院事業の発展を見るにつけて思うのである。

●光田 明正 (みつた あきまさ) プロフィール

- 1936年 台北に生まれる
- 1959年 東京大学経済学部卒業
- 1960年 文部省入省
- 1962年 カナダ・マニトバ大学留学
- 1966年 Eisenhower Fellowとして全米を訪問旅行
- 1973年 OECD日本政府代表部一等書記官
- 1977～81年 文部省留学生課長
- 1987年 大臣官房審議官 (学術国際担当)
- 1988年 国際交流基金常務理事
- 1992年 桜美林大学教授
- この間1993に米国のUCSD (University of California, San Diego)、2000にUCLA (University of California, Los Angeles) 客員教授
- 2001～05年 長崎外国語大学・長崎外国語短期大学学長
- 2005～09年 桜美林大学客員教授
- 2005～09年 国際教養大学客員教授
- 2006年 桜美林大学孔子学院学院長
- 2011年 桜美林大学孔子学院名誉学院長
長崎外国語大学名誉学長

公益財団法人第1回理事会

実施日：平成23年4月16日(土)

場所：大学セミナーハウス さくら館セミナー室A

出席理事6名 欠席理事3名 合計9名
出席監事1名 欠席幹事1名 合計2名

平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響で利用者の激減が見込まれたので、財政の立て直しが急務であるため、「平成23年度事業計画の修正案」及び「平成23年度補正予算案」について提案がなされ審議の結果原案通り承認可決されました。

主な協議事項及び報告事項は次の通りです。

◎協議事項

- ①平成23年度事業計画の修正案について、原案通り承認されました。
- ②平成23年度補正予算案について、原案通り承認されました。
- ③常務理事の選任について：奥島孝康理事、鈴木康司理事が選任されました。
- ④第1回評議員会及び第2回理事会の開催日程について次の通り承認されました。
第1回評議員会 平成23年5月28日(土)
第2回理事会 平成23年5月28日(土)

◎報告事項

東日本大震災の当法人への影響を中心に次の報告がなされました。

- ①利用予約者のキャンセルの状況について
- ②平成22年度利用実績について
- ③震災による施設被害と修繕費の見込みについて
- ④八王子市へ通知した、当法人としての被災者受け入れ案について
- ⑤被災地救済の募金活動について

以上

公益財団法人第2回理事会

実施日：平成23年5月28日(土)

場所：大学セミナーハウス 本館3Fラウンジ

出席理事6名 欠席理事3名 合計9名
出席監事2名 欠席幹事0名 合計2名

「平成22年度事業報告案」及び「平成22年度決算報告案」について提案がなされ審議の結果、原案通り承認可決されました。

主な協議事項及び報告事項は次の通りです。

◎協議事項

- ①平成22年度事業報告案について原案通り承認されました。なお、荻上館長から「東日本大震災の影響で、利用者見込みを34,000名としたが31,274名に留まった。」旨の説明がありました。
- ②平成22年度決算報告案について原案通り承認されました。

◎報告事項

- ①理事、監事の選任について

荻上館長から、公益財団法人移行後も理事及び監事は継続が可能であるが、公益財団法人になっての第1回評議員会において選任するのが本来の姿であるので平成23年5月28日の評議員会で改めて選出することとしたい旨の報告があり、出席理事全員がこれを了承し、平成23年5月28日をもって理事及び監事全員が辞任することとした。

- ②業務報告について

東日本大震災による利用予約者のキャンセル、利用者実績、主催セミナー実施状況等について報告がありました。

以上

公益財団法人第1回評議員会

実施日：平成23年5月28日(土)

場所：大学セミナーハウス 本館3Fラウンジ

出席評議員8名 欠席評議員7名 合計15名
出席監事2名 欠席幹事0名 合計2名

「評議員会議長の選任」の協議に当たり、佐藤東洋士理事長が仮議長となることについて出席評議員の了承のもと選任を行い、佐野博敏氏の就任が承認可決されました。ついで、佐野博敏議長のもと、「平成22年度事業報告案」及び「平成22年度決算報告案」について提案がなされ審議の結果、原案通り承認可決されました。

主な協議事項及び報告事項は次の通りです。

◎協議事項

- ①平成22年度事業報告案について原案通り承認されました。
- ②平成22年度決算報告案について原案通り承認されました。
- ③理事、監事の選任について

荻上館長から次のような提案説明がありました

「公益財団法人移行後も理事及び監事は継続が可能であるが、公益財団法人になっての第1回評議員会において選任するのが本来の姿であり今後の評議員及び役員選任手続きが輻輳する事をさけるためにも、平成23年5月28日からの任期で再任案を提案する事にしたい。先程開催の第2回理事会で、理事及び監事は平成23年5月28日で全員辞任する事になった。ついで、前理事及び前幹事全員を候補者として提案致したい。報酬等の額については現状を踏襲する。」

佐野議長の指示のもと、定款19条第3項に基づき個別に投票を行った結果、候補者全員が賛成票8票を獲得し、定款第19条第1項により選任された。なお、開票に当たっては監事2名が立ち会った。

理事の任期は、平成23年5月28日から2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで。

理事名簿 (平成23年5月28日 第1回評議員会で選任)

再任 荻上 紘一	大学評価・学位授与機構	特任教授
再任 奥島 孝康	早稲田大学	名誉顧問
再任 鈴木 康司	公益財団法人日仏会館	副理事長
再任 程島 俊介	大学セミナーハウス	専務理事
再任 光田 明正	桜美林大学孔子学院	名誉学院長
再任 佐藤東洋士	桜美林大学	理事長・学長
再任 鈴木典比古	国際基督教大学	学長
再任 蟻川 芳子	日本女子大学	学長・理事長
再任 増田 壽男	法政大学	総長

◎報告事項

- ①第1回理事会の決議事項について

平成23年度事業計画修正案及び平成23年度修正予算案について報告がありました。

- ②業務報告について

東日本大震災に起因する利用予約者のキャンセルの状況、利用状況、主催セミナーの実施状況、施設整備の状況と震災被害による修繕費、寄附実績、評議員1名の辞任等についての報告がありました。

以上

公益財団法人第3回理事会

実施日：平成23年5月28日(土)

場 所：大学セミナーハウス 本館3Fラウンジ

出席理事6名 欠席理事3名 合計9名

出席監事2名 欠席幹事0名 合計2名

佐藤議長から、本理事会の開催目的は定款第22条第2項及び同第23条第2項並びに同第24条第2項に基づく理事長、館長、専務理事、常務理事の選定及び担当職務の決定である。理事については先程行われた第1回評議員会に於いて9名の方々が選任された旨の報告・説明がなされ議事に入り、審議の結果原案通り承認可決されました。

主な協議事項及び報告事項は次の通りです。

◎協議事項

- ①理事長、館長、専務理事、常務理事の選定について議長案の通り、次のように選定されました。
なお、被選定者は、全員その就任を承諾した。

役職名	氏名	所属	法人内担当	
理事長	佐藤東洋士	桜美林大学 理事長・学長		再任
館長	荻上 紘一	大学評価・学位授与機構 特任教授	セミナー・ 宿泊事業担当	再任
専務理事	程島 俊介	大学セミナーハウス 専務理事	総務・ 財務担当	再任
常務理事	奥島 孝康	早稲田大学 名誉顧問	総括・ 運営担当	再任
常務理事	鈴木 康司	公益財団法人日仏会館 副理事長	事業計画担当	再任

以上

公益財団法人第1回協力会員協議会

実施日：平成23年7月6日(水)

場 所：大学セミナーハウス さくら館セミナー室A

出席者：筑波大学、電気通信大学、桜美林大学、大妻女子大学、創価大学、東京工科大学、明星大学、白梅学園短期大学、(財)国際教育振興会
大学セミナーハウス：理事長、館長、専務理事、担当課長及び主幹

公益財団法人として、定款第45条に基づき「第1回協力会員協議会」を次の通り開催いたしました。

◎法人からの説明事項など

- 理事長より、公益財団法人として初めての協力会員協議会であり、新しい船出である。公益財団法人として発展していくために協力会員協議会の場を通して、利用される団体のご意見を承っていききたいとの挨拶がありました。
- 館長より、平成23年度事業計画（修正）の説明を行いました。
- 専務理事より、平成23年度予算（補正）について説明を行いました。
- 事務局より、平成23年度利用者の見込み、主催事業の実施状況、震災対応の施設整備の状況等の説明がなされました。

◎出席者からのご意見ご提言

- 利用価値の高い施設であるので、今後活用していきたい。
- 閑散期対策を行い、稼働率の改善を図るべきである。

- 利用しやすい、モダンと云う印象をもっとPRすべきである。
- 大学とセミナーハウスが協調して充実を図るべきである。
- 主催セミナーについて印象的で良い傾向が見られる。
- 今後、利用促進活動に協力していく。
- 災害対策の「備蓄基地」としての価値もあるのではないかと。

以上。

貸借対照表

(平成23年3月31日現在)

単位：円

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	1,415,682	1,791,027	△ 375,345
預金	16,034,719	40,347,341	△ 24,312,622
未収金	2,911,900	13,081,640	△ 10,169,740
仮払金	106,380	74,698	31,682
棚卸資産	0	1,434,630	△ 1,434,630
流動資産合計	20,468,681	56,729,336	△ 36,260,655
2 固定資産			
(1)基本財産			
土地	332,024,279	185,874,453	146,149,826
基本金特定預金	4,234,547	4,234,547	0
基本財産合計	336,258,826	190,109,000	146,149,826
(2)特定資産			
退職給付引当資産	9,000,000	9,000,000	0
減価償却引当資産	18,000,000	18,000,000	0
特定資産合計	27,000,000	27,000,000	0
(3)その他固定資産			
建物	583,580,682	596,650,348	△ 13,069,666
建物附属設備	156,134,675	169,080,107	△ 12,945,432
構築物	60,401,895	61,119,908	△ 718,013
車両運搬具	452,625	13,248	439,377
什器備品	24,943,295	20,062,711	4,880,584
建設仮勘定	0	127,189,826	△ 127,189,826
図書	2,944,592	2,944,592	0
樹木	2,367,680	2,367,680	0
電話加入権	723,701	723,701	0
有価証券	10,000	10,000	0
その他固定資産合計	831,559,145	980,162,121	△ 148,602,976
固定資産合計	1,194,817,971	1,197,271,121	△ 2,453,150
資産合計	1,215,286,652	1,254,000,457	△ 38,713,805
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	8,818,446	19,857,957	△ 11,039,511
預り金	5,398,536	2,112,325	3,286,211
流動負債合計	14,216,982	21,970,282	△ 7,753,300
2 固定負債			
長期借入金	284,927,032	310,414,006	△ 25,486,974
退職給付引当金	16,456,000	16,456,000	0
その他の固定負債	6,340,320	7,925,400	△ 1,585,080
固定負債合計	307,723,352	334,795,406	△ 27,072,054
負債合計	321,940,334	356,765,688	△ 34,825,354
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
2 一般正味財産	893,346,318	897,234,769	△ 3,888,451
(うち基本財産への充当額)	(336,258,826)	(190,109,000)	(146,149,826)
(うち特定資産への充当額)	(18,000,000)	(18,000,000)	0
正味財産合計	893,346,318	897,234,769	△ 3,888,451
負債及び正味財産合計	1,215,286,652	1,254,000,457	△ 38,713,805

正味財産増減計算書は紙幅の都合で7ページに記載しました。

会費をありがとうございました

2011年4月～9月

(敬称略)

村瀬 旻、西澤宗英、橋口英俊、朝野洋一、福島 明、馬越 徹、柴田勇造、安宅光雄、宮川 彰、宅間 宏、小倉充夫、本江哲郎、古畑和孝、芳野越夫、今堀和友、中村幸安、中山勝博、樋口美智恵、黒田道雄、阿部公輝、慶谷伸代、吉田幸弘、厚東偉介、入江和生、上野芳康、高橋公雄、松島 恵、柏木恵子、古本捷治、小池 滋、田島恵児、川原啓美、橋本 智、鈴木三男吉、中山光雄、柴田 誠、太幡祐己、瀬田裕司、伊藤意智郎、仙田 哲、松尾秀雄、金谷 憲、米村貞蔵、小池生夫、木村建一、松平文朗、稲田 拓、新井勝紘、松尾浩也、鈴木一道、小川信子、荻原洋太郎、栗原 裕、山田耕司、荒川由美子、宮野三郎、小和田 恆、田中弥寿雄、岡村文子、國岡昭夫、長内 了、林 卓男、藤田淑子、村上陽一郎、志賀 英、麓 信義、朽津耕三、大瀧裕子、野崎昭弘、林 勲、八幡義博、小堀桂一郎、松瀬貢規、滝口 亨、末松安晴、村田光二、永井克孝、並河一道、桐原五十鈴、東 壽太郎

小原孝一郎、手塚喬介、柳堀素雅子、藤井弥太郎、鳥海保子、松澤通生、秋間 実、海老根 宏、太田正孝、林 肇、水野弘文、本明 寛、犬塚 博、加藤晴久、滝口俊子、芳賀 徹、澤島侑子、荒井 献、奥山典生、金子六郎、長谷川幸男、水谷眞智子、中嶋嶺雄、

会員からのメッセージ

◆またしても誕生日カードへのお礼と会費納入がおこなわれてしまいました。お許しください。定年退職後20年、おかげさまでまだ生きながらえて読んだり書いたりしております。いちどセミナーハウス再訪をと念じますが、脚力が大いに衰えていて、二の足を踏んでしまいます。ますますのご発展を祈りながら。

秋間 実

◆会費納入を失念してました。小泉構造改革についていけず、退職して3年目を過ぎようとしています。原発地から50kmなので、いろいろと考えさせられます。孫たちへの影響が出来るだけ少ないことを祈っています。

太田正孝

◆ついに80歳となり、自分自身おどろいています。しかし、まだ仕上げなければならぬ仕事とあり、もう少し頑張ります。

芳賀 徹

◆ますますのご発展を祈っております。

金子六郎

◆永らくお世話になりました。馬越徹は2011年4月7日に亡くなりました。大学セミナーハウスの御発展を祈念します。

馬越尚夫

◆ご無沙汰しております。今年こそゼミ生を引き連れて、よく学びそして学んだあとは野猿の森を散策したいと期待しております。

宮川 彰

◆益々のご発展を祈ります。私は大きな手術から2年弱経過し、回復に努めております。満80歳を迎えることが出来ました。

古畑和孝

◆おそくなりました。少しばかりですが、気持だけ送ります。私も87歳になりました。

樋口美智恵

◆大学セミナーハウスのますますの発展と、ハウス関係者皆様のご健康・ご活躍を心からお祈り申し上げます。

黒田道雄

◆85歳の誕生日をむかえることができました。若い頃貴施設を利用させていただき、楽しく学んだ事をなつかしく思い出します。

吉田幸弘

◆お誕生カード、誠に有り難く拝受いたしました。御蔭様でまだ元気に動いております。大学セミナーハウスのますますの御発展を祈ります。

厚東偉介

◆当たり前なことながら、毎年新しい若者たちが加わり、新しい若者たちが巣立っていきます。彼ら彼女らの1年ずつの成長を楽しみにしています。

上野芳康

◆本年も元気で誕生日を迎えることができました。大学セミナーハウスの益々の充実・発展をお祈りいたします。

松島 恵

◆セミナーハウス事業の健全な進展を祈っております。

田島恵児

◆名城大学経済学部のゼミ合宿を行います。ますますの御発展を祈念いたします。

松尾秀雄

◆79歳になりました。おかげさまで元気に時折働いています。叙勲をうけましたことを感謝し、セミナーハウスに通った頃の長い年月を走馬燈のように思い出します。池田さん元気で働きましょうか。

小池生夫

◆一昨年からはじまった「新八王子市史」編さん事業の近現代史部門の責任者として、40年ぶりの八王子の歴史編さんに取り込んでいます。

新井勝紘

◆厳しい暑さに皆様お変わりなくいらっしゃいますか。その中で、東北の方々の事を思うと、胸が痛みます。よりよい復興を念じています。

小川信子

◆「生きることが仕事」の毎日を過ごしております。

荻原洋太郎

◆大学セミナーハウスの発展を期待しております。

栗原 裕

◆大学セミナーハウスの益々の御発展を心から願っております。

宮野三郎

◆海外出張のため会費納入が遅くなりました。申し訳ございません。9月5日、新任教員の皆様へ少しばかりお話をさせていただきます。

長内 了

◆セミナーハウス初代館長山内恭彦先生にお仲人して戴きました東大名誉教授藤田宏と家内です。セミナーハウスも長い長いお付き合いになりました。

藤田淑子

◆幸ひ末だ現役で働いておりますが、この誕生日によって後期高齢者になりました。皆様の御健勝を祈ります。

村上陽一郎

◆そちらにお世話になって以来、早くも30年以上たちました。今年の猛暑にも、何とか元気にすごしています。セミナーハウスの益々の御発展を祈り上げます。

志賀 英

◆美しいカードをありがとうございました。さまざまな困難の中で留学生の方がご在住と伺い本当にうれしく思いました。更に多くの方々がお館において真剣に勉学をつづけられることを祈っております。

永井克孝

◆千人会のささやかな贈りものです。「継続は力」を言い訳に続けているだけです。納めくだされば幸いです。

東 壽太郎

2011年4月1日より公益法人移行に伴い、租税特別措置法に基づき、寄付金にかかる税額控除等を受けることが出来るようになりました。

ご利用ありがとうございました (平成23年4月～9月)

* = 同月2回利用
** = 同月3回以上利用
日帰り利用はグループ数のみ
(延べ人数には日帰り利用は含まず)

敬称略

■4月(61グループ 延2,040人)

東京学芸大学 教育学部鴨川仁研究室
法政大学法学部 長谷川ゼミナール
埼玉大学 福岡ゼミ
法政大学 絵所ゼミ
青山学院大学 理工学部
首都大学東京 物理学コース
首都大学東京 桜都寮
明星大学教育学部シュミレーションキャンブ
財団法人日中技能者交流センター
株式会社スリーボン
公益社団法人国際日本語普及協会 *
早稲田大学 基幹理工学部算研究室
早稲田大学 アクセシブルデザイン研究会
早稲田大学 教育学部河村研究室
東京学芸大学 生涯学習専攻
東京農工大学 環境資源科学科
中央大学 学術連盟経済学会
恵泉女学園大学人間社会学部 上村ゼミ
中央大学 文学部心理学研究室
東京経済大学 放送研究会
早稲田大学 先進理工学部高分子化学研究室
法政大学 清水ゼミ
中央大学 白門会
帝京大学 教職大学院
日本バプテスト連合青年部
FCブランコ八王子
霞ヶ浦高等学校 野球部
株式会社アルク
町田リトルシニア野球協会
株式会社九州屋
第一屋製パン株式会社
株式会社エコス
株式会社住機
アドバンスアプリケーション株式会社
ブレンダインナミクス
財団法人日本アウトワードハンド協会
日本電気通信システム株式会社
ラフターヨガジャパン
TBAシンガーズ
エナジーソフト株式会社
さざんかシティウインズ
留学生
個人利用

日帰り利用

アイセック中央大学
ツリーマスタークライミングアカデミー **
めじろ台ホークス
KKベストセラーズストリートジャック
調布バプテストテンプル **
首都大学東京 バasketボール部

■5月(68グループ 延2,659人)

駒澤大学経済学部 瀬戸岡ゼミ
駒澤大学大学院 瀬戸岡ゼミ
首都大学東京 FD・SD宿泊セミナー
首都大学東京 システムデザイン学部ヒューマンコース
首都大学東京 テコンドー部
首都大学東京 機械工学コース
首都大学東京 都市環境学部気象学高橋研究室
上智大学 テニスサークルクラブオール

早稲田大学 河西ゼミ
早稲田大学 先進理工学部高分子化学研究室
早稲田大学 大学院菅野純研究室
早稲田大学大学院 日本語教育研究科
中央大学ポピュラーソング研究会
中央大学 商法研究会
中央大学 旅の会
帝京大学 喜多ゼミ
電気通信大学 情報理工学部上野研究室
東京学芸大学 表現コミュニケーション専攻
東京工科大学 田胡研究室
東京工業高等専門学校 野球部
東京大学 古矢ゼミ
東京都市大学 教職課程
東洋英和女学院大学 教職課程
東洋大学 建築研究会
東洋大学 川瀬ゼミ
日本大学商学部川野ゼミ
法政大学デザイン工学部 陣内研究室
法政大学 清水ゼミ
法政大学法学部 河野ゼミ
明星大学教育学部
明星大学経営学部A
明星大学経営学部B
明星大学経営学部C
明星大学 樋口ゼミ
立教大学 大友ゼミ
立教大学文学部 上田ゼミ
NPO法人POSSE
アイセックジャパン
アイセック中央大学委員会
ぐるぐるつくる大学セミナーハウス
学習院大学 シェイクスピアドラマソサエティ
光明学園相模原高等学校
実践女子大学 生活文化学科
武蔵野美術大学 菊地ゼミ
野生生物保護学会
株式会社スリーボン
エナジーソフト株式会社
キューピー株式会社
サイバーシルクロード八王子
シャープエレクトロニクスマーケティング株式会社
株式会社アーバン・コミュニケーションズ
株式会社いなげや人財開発部
株式会社セキド
神楽坂懇話懇親会
石川千鶴記念会
日本分光株式会社
留学生
個人利用

日帰り利用

調布バプテストテンプル *
株式会社セキド
八大緑友会
ツリーマスタークライミングアカデミー *

■6月(62グループ、延2,203人)

芝浦工業大学鉄道研究会
早稲田大学生体情報システム工学研究室
横浜国立大学建築学コース
生化学若い研究者の会
早稲田大学アクセシブルデザイン研究会
野生動物合同サークル
日本中東学生会議
法政大学 金原ゼミ
東京都市大学 兼子ゼミ
日豪合同セミナー
環境心理合同ゼミ
東京工業大学化学工学専攻
東京大学パシフィカス
日本女子大学附属高等学校

桜美林大学 大木ゼミ
関西創価高等学校
立教大学 郭ゼミ
第12回「世界とアメリカ」セミナー
東京経済大学 陣内ゼミ
日本大学 神野研究室
株式会社スリーボン
法政大学 小椋ゼミ
早稲田大学 小松原研究室
明星大学教育学部
東京工業大学大学院 木嶋研究室
東京農工大学HOPE80プロジェクト
日本行動神経内分泌研究会・鋤鼻研究会
國學院大学
海上の森の会
多摩エレクトロニクス
財団法人自然保護協会
まいぶれパートナーキャン2011
三鷹市民混声合唱団フォーゲル
石川千鶴記念会
心と体の研究会
株式会社インクス
八王子プラザホテル
株式会社セキド
救世軍社会事業団
アジレントテクノロジーインターナショナル株式会社
株式会社いなげや人財開発部
有限会社武藤装建
留学生
個人利用

日帰り利用

スリーマスタークライミングアカデミー **
沖友会西多摩部総会
株式会社セキド
調布バプテストテンプル **
株式会社ナルド
幼体連スポーツクラブ
アポロ美容容容専門学校

■7月(75グループ、延2,453人)

アイセックジャパン
アイセック青山学院大学委員会
オムニバス
ペンの森
駒澤大学 村井ゼミ
慶応義塾大学 山内ゼミ
慶應義塾大学 山下研究会
慶應義塾大学 玉村ゼミ
首都大学東京 山崎ゼミ
首都大学東京 児島研究室
首都大学東京 森研究室
十大学合同セミナー
青山学院大学経済学部 中澤ゼミ
青山学院大学 佐久間ゼミ
創価大学 経営学部グローバルプログラム
早稲田大学 スポーツ科学研究科
早稲田大学 河西ゼミ
早稲田大学大学院・明星大学大学院合同合宿
大学人コミュニケーション力養成セミナー
第24回大学職員セミナー
中央大学ドイツ語専攻
東京外国語大学 伊勢崎ゼミ
東京外国語大学 京英会
東京学芸大学 吉富ゼミ
東京理科大学 大澤ゼミ
東洋英和女学院大学 篠原ゼミ
東洋大学 高山ゼミ
東洋大学 東海林ゼミ
内定アカデミア
日本行動神経内分泌研究会・鋤鼻研究会
日本大学 別府ゼミ

法政大学
法政大学 小林ゼミ
あしなが育英会
宇宙ライフサイエンス若手の会
国士舘大学 木原ゼミ
十文字中学高等学校
神奈川県立上溝南高等学校クラシックギター部
専修大学附属高等学校
東京都立南多摩高等学校
日本女子体育大学 角田研究室
日本赤十字社神奈川県支部
拝島二小FC
文学教育研究者集団
六本杉スターズ
HFA
JIA(日本建築家協会)
アンディームジーク室内合奏団
カウンセリング研究会
クラブツーリズム株式会社
フルート&ギター教室
ラフターヨガジャパン
梓設計建築部
株式会社キーバインド
石川千鶴記念会
町田クリスチャンセンター
日本スペシャルティーコーヒー協会
有限会社スクラムライス
スクーリング
個人利用
日帰り利用
スリーマスタークライミングアカデミー
アポロ美容美容専門学校
学校法人文化学園
調布バプテストテンプル **
帝京大学 郷ゼミ

■8月(126グループ、延4,607人)

立教大学 文芸思想
帝京大学 中田ゼミ
創価大学 浅井ゼミ
生徒シンポジウム2012実行委員会
東京工業大学大学院 吉田研究室
電気化学夏の学校
明星大学 渡辺ゼミ
KBC実行委員会
筑波大学附属小学校自主研究会
桜美林大学 舘ゼミ
法政大学ボランティアセンター
法政大学法学部 中野ゼミ
アイセック立教大学委員会
日本大学国際関係学部 四之宮ゼミ
明星大学 竹内ゼミ
早稲田大学 中谷研究室
法政大学 将棋部
東京外国語大学京英会
アイセック東京大学委員会
工学院大学理科教育センター
筑波大学手話サークル
創価大学Fair Trade Project
筑波大学 倉橋ゼミ
ミュージカル同好会
法政大学ボランティアセンター
女子美術大学附属高等学校・中学校
北原国際病院医療のまちづくりプロジェクト
明星大学スクーリング
日本大学管弦楽団木管パート
日本大学JAVS外務局
東京都市大学附属中学校・高等学校
東京工科大学 毛塚ゼミ
法政大学中学高等学校演劇部
駒澤大学 坪井ゼミ

東洋大学スポーツ新聞編集部
芝浦工業大学電子計算機研究会
千葉大学
明治大学商学部 菊池ゼミ
桜美林大学大学院 高橋ゼミ
早稲田大学建築展
東京農工大学 藤田研究室
中央大学 緑川ゼミ
明星大学 菊地ゼミ
大妻多摩中学高等学校
東京工科大学吹奏楽団
東京学芸大学大学院英語教育 金谷ゼミ
埼玉大学 福岡ゼミ
青山学院大学 石津ゼミ
横浜国立大学大学教育総合センター
大妻女子大学 向井ゼミ
立正大学 藤岡ゼミ
東洋大学 宮崎ゼミ
東京工芸大学シナリオ研究会
中大スクーリング生
日本女子体育大学附属二階堂高等学校
神田外語大学
日体桜華高等学校
長野県諏訪清陵高等学校
日本赤十字社神奈川県支部
拓殖大学ナインティース
文学教育研究者集団
めじろ台ホークス
日野イースタンジュニア
中医学ネットワーク
現代と経済
専修大学望月プロジェクト
AITC
八王子市教育委員会
進学塾ウィル
東京家政学院大学 小野ゼミ
ホワイティングスミニバスケットボールスポーツ少年団
日本赤十字社神奈川支部高校生
ヨナの会
あきる野市教育委員会
神奈川大学 飯塚ゼミ
よみかかせ交流広場
明神フェニックス
ドリームメジャー学習塾
西八王子サッカークラブ
新宿区立津久戸小学校少年野球教室
野生動物学入門セミナー
日野交通少年団
東京薬科大学内内分泌神経薬理
関西大学環境都市工学部建築学科
森村学園中高等部
八王子市中学校3年次研修H組
町田桐葉学院桜台教室
渋谷教育学園渋谷中学校高等学校理科部
日本赤十字社
茨城大学バレーボール部
数論セミナー
成城大学 安達ゼミ
東京神学大学夜間神学講座
HFA
TBAシンガーズ
わけわかワークショップ
広林太極文化センター
みのり会
桐生神明小ミニバスケットボールクラブ
社会福祉法人いのちの電話
社団法人国際商事法研究所
株式会社インテリジェンス
相模原ホープチャーチ
有限会社デボル
石川千鶴記念会

ホワイハウスシアター
日英朗読研修会
学科製図.Com
馬場ゼミOB
留学生
個人利用
日帰り利用
調布バプテストテンプル **
日本大学短期大学部建築学科
積水化学工業株式会社
野猿峠自治会

■9月(139グループ、延3,953人)

東京工芸大学シナリオ研究会
駒澤大学 吉田ゼミ
日本大学短期大学部建設学科
生化学若い研究者の会
中央大学 梅原ゼミ
法政大学 河野研究会
ヴォクスガウデオーズ
大妻女子大学 小谷ゼミ
ICUディベート部
第1回新任教員研修セミナー
東洋大学はばたき
立教大学物理学専攻 理論研究室
法政大学社会学部 土橋ゼミ
早稲田大学ロシア語劇団コンチェルト
明治大学 蔵本ゼミ
大学人コミュニケーション力養成セミナー
駒澤大学マスコミュニケーション研究所
法政大学 八幡ゼミ
帝京大学こでまり
東京外国語大学 中川ゼミ
創価大学 宮崎ゼミ
東京工業大学 大山研究室
中央大学英語学会
慶應義塾大学 高橋研究室
日本大学生産工学部
明治大学経理研究所
東京経済大学 釜江ゼミ
駒澤大学社会学科 坪井ゼミ
KBC実行委員会
法政大学 小原ゼミ
東洋大学
東京都市大学電気機器研究室
東京外国語大学タイ語科
法政大学 金原ゼミ
一般社団法人首都圏産業活性化協会
電気通信大学 寺田研究室
明治大学理工学部科学技術英語セミナー
東京都市大学 兼子ゼミ
青山学院大学 白井ゼミ
上智大学 応用言語ゼミ
早稲田大学建築展
中央大学法学部 米津ゼミ
中央大学 清水ゼミ
明治大学 藤井ゼミ
成蹊大学演習エル
首都大学東京システムデザイン学部
法政大学 森ゼミ
立教大学 芳賀ゼミ
東京工業大学将棋部
アイセック立教大学委員会
首都大学東京国際センター
ヤマザキ学園大学
立教大学 箕口ゼミ
早稲田大学 田口ゼミ
東洋大学 植野ゼミ
東京農工大学樹恩ネットワーク
慶應義塾大学 塩原研究会
慶應義塾大学日本を造りつくプロジェクト

正味財産増減計算書

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

単位：円

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	23,185	11,792	11,393
基本財産利息収益	23,185	11,792	11,393
事業収益	165,555,097	246,737,153	△ 81,182,056
学生宿泊事業収益	105,987,860	124,812,801	△ 18,824,941
セミナー事業収益	4,972,700	7,314,559	△ 2,341,859
留学生支援事業収益	11,288,000	12,126,500	△ 838,500
社会人宿泊事業収益	37,491,751	31,988,728	5,503,023
食堂事業収益	0	70,182,990	△ 70,182,990
土地等貸付事業収益	5,814,786	311,575	5,503,211
受取補助金等収益	150,000	5,200,000	△ 5,050,000
受取補助金等収益	150,000	5,200,000	△ 5,050,000
受取会費・寄附金収益	51,497,000	51,977,000	△ 480,000
会員会費	50,480,000	50,880,000	△ 400,000
千人会会費収益	967,000	1,087,000	△ 120,000
その他の寄附金収益	50,000	10,000	40,000
雑収益	1,487,940	7,108,846	△ 5,620,906
雑収益	1,487,940	7,108,846	△ 5,620,906
経常収益計	218,713,222	311,034,791	△ 92,321,569
(2) 経常費用			
事業費	204,039,927	286,712,456	△ 82,672,529
管理費	18,561,746	14,743,280	3,818,466
経常費用計	222,601,673	301,455,736	△ 78,854,063
評価損益等調整前 当期経常増減額	△ 3,888,451	9,579,055	△ 13,467,506
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 3,888,451	9,579,055	△ 13,467,506
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
租税公課（法人税、 都民税均等割）	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 3,888,451	9,579,055	△ 13,467,506
一般正味財産期首残高	897,234,769	887,655,714	9,579,055
一般正味財産期末残高	893,346,318	897,234,769	△ 3,888,451
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	893,346,318	897,234,769	△ 3,888,451

早稲田大学 尾澤ゼミ
 東京農業大学アジア農業研究室
 立正大学 板橋ゼミ
 日本大学法学部 大井ゼミ
 東京学芸大学青年文化ゼミ
 株式会社スリーボンド
 上智大学 川西ゼミ
 上智大学ヘルパー
 埼玉大学 江口ゼミ
 上智大学 小塩ゼミ
 横浜国立大学国際問題研究会
 株式会社スリーボンド
 東京外国語大学 丹羽ゼミ
 首都大学東京 中岡ゼミ
 東洋大学 白川ゼミ
 東京大学 三谷ゼミ
 二松学舎大学 水本ゼミ
 高千穂大学 中元ゼミ
 京都朝鮮高校
 国土館大学カントセミナー
 東京聖栄大学ピアヘルピングワークス
 東京電機大学 山本ゼミ
 名城大学経済学部 松尾ゼミ
 明治学院大学 稲葉ゼミ
 高千穂大学 大島ゼミ
 東京国際大学人間社会学部 萩原IVゼミ
 日本体育大学 上野ゼミ
 南八王子サッカークラブジュニアユース
 あしなが学生募金事務局
 関西大学
 駒沢女子大学太極拳部
 インターハート人間教育研究会
 目白大学 船越ゼミ
 相模女子大学STAND UP! CLUB
 獨協大学英語学科 永野ゼミ
 サレジオ工業高等専門学校
 東海大学 福味ゼミ
 ホワイトホースシアター
 NKSJシステムズ株式会社
 美しが丘ファミリー男声合唱団
 郁翠会
 東京多摩いのちの電話
 ホワイトホースシアター
 女声合唱団かのん
 NKSJシステムズ
 エナジーソフト株式会社
 特定非営利活動法人樹木・環境ネットワーク協会
 新日本ギターアンサンブル
 ヨシュア会
 原町田教会
 キリストの教会伝道学院
 とんぼクラブ
 竜王会
 石川千鶴記念会
 株式会社オザム流通部
 留学生
 個人利用
 日帰り利用
 調布バプテストンブル *
 株式会社ネコ・バプッシング
 株式会社双葉社
 NPO法人国際チャリティー教会
 シザーズコミュニティー
 国際英語討論会
 マレーシア

2011年度前期 開催セミナー報告

主催セミナー名	日程	テ ー マ	講 師	参加者数
第24回 大学職員セミナー	7/ 8～9	大学職員としてのアイデンティティ ー大学職員の可能性を考えるー	西川和孝(文部科学省高等教育局高等教育政策室長補佐) 小田隆治(山形大学教授)	51
第 1 回 新任教員研修セミナー	9/ 5～7	—	徳永 保(国立教育政策研究所長) 木原 章(法政大学教授) 村山光子(明星大学) 長内 了(中央大学教授・常任理事) 上野 淳(首都大学東京副学長) 土持 ゲーリー 法一(帝京大学教授) 林 義樹(日本教育大学院大学教授) 荒木晶子(桜美林大学教授) 小川哲生(明星大学学長)	52

2011年度後期 開催セミナー

主催セミナー名	日程	テ ー マ
第 4 回 国際教養セミナー	10/22(土)～23(日)	文化交流は日中間の溝を埋められるか
第 8 回 古代史セミナー	11/ 5(土)～ 6(日)	日本古代史・新考・自由自在(その四)
第25回 大学職員セミナー	12/ 2(金)～ 3(土)	大学職員としてのアイデンティティ ー職員が変われば大学は変わるー
第38回 国際学生セミナー	11/26(土)～27(日)	アジア・太平洋地域はどこへ ー新たな国際秩序の模索ー
第 4 回 教員免許状更新講習	12/25(日)～28(水)	教育の最新事情、教育内容の充実
教職員支援のための連続講演会 (主催：電気通信大学)	10/25(火)	大学と仕事との接続をめぐる現状と課題
	11/11(金)	現代社会を生きる大学生の教育支援・心理支援 ー関係ネットワークづくりという視点からの要請ー
	12/ 9(金)	研究と教育の両立と統合を考える ー国際比較を基にしてー
特別企画セミナー (共催：芝浦工業大学)	11/12(土)	グローバル人材育成のために大学教育に望むこと

☆詳細は、ホームページをご覧ください。 <http://www.seminarhouse.or.jp>

☆セミナーに関するお問合せ・お申し込み TEL.042-676-8532 FAX.042-676-1220 E-Mail:seminar-g@seminarhouse.or.jp

週1回“八王子セミナーハウス メールマガジン”を発行しております。ご希望の方は上記メールアドレスにてお申込下さい。

○寄贈図書 (2011年4月～2011年9月)

東海大学紀要

東海大学教育研究所

上代タノ先生に学ぶ(DVD付) 鳥根県雲南市春殖賢人ライブラリー

Educational Development

東海大学教育開発研究所

早稲田法学第86巻第2号2011

早稲田大学法学会

가상 의례(仮想儀礼)上下

篠田節子

比治山高等教育研究第4号

比治山大学高等教育研究所

館 長 室 から 「生徒に勉強して頂く」大学

私の理解では、小学校で学ぶ者は「児童」、中学校や高等学校で学ぶ者は「生徒」と呼ばれ、大学で学ぶ者は「学生」と呼ばれてきた。学校教育法や大学設置基準においても、大学で学ぶ者は「学生」と明記されている。ところが近年、大学で学ぶ者が「生徒」と呼ばれることが珍しくなくなってきた。教員が自分の勤務する大学で学んでいる者を「生徒」と呼び、大学生が自分達のことを「生徒」と呼ぶのである。この現象は女子大において始まったように思われるが、昨今では多くの大学に伝染しているらしい。教員は、自分が教えている者が「学生と呼ぶに相応しくない」と考えて「生徒」と呼んでいるのであろうか。学生は、自分が「学生と呼ばれるに相応しくない」と考えて「生徒」と自称するのであろうか。

私の理解では、昔は、大学生は「自ら学ぶ者」と考えられていた。文系の先生の中には、「私の授業になど出てこなくて良いから、自分で勉強しなさい」などと言う人もいたと聞く。大学生の数が増えるのに伴って、「自ら学ぶ者」は少数派になり、大学生は「勉強させる者」と考えざるを得なくなった。更に、昨今は、「毎時間レポートを提出して頂くことにしている」「数人のグループで討議して頂くことにしている」「出来るだけ自分達で考えて頂くようにしている」などと言う教員が珍しくなくなった。

学校教育法第83条には、「大学は、学術の中心として、広く知識を授けるとともに、深く学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させることを目的とする。」と謳われている。しかし、大学の多様化により、「生徒に勉強して頂く」大学が珍しくなくなったということらしい。何か嘆かん今更に！

館長 荻上 紘一



Plain living and high thinking

制 編 発 発
 作 集 行 行
 || アトリエのへ || 八王子セミナーハウス || 公益財団法人 大学セミナーハウス
 || エイ || セミナーハウスグループ || 2011年11月発行 || No.181